

静岡県がもし100人の村だったら

作：静岡県統計利用課・
統計調査課



ここは、静岡村です。

村には、日本一高い山があります。
村のお茶や海産物は、とても有名です。


村には、100人の村人が住んでいます。

そんな静岡村について、見ていきましょう。



総人口：3,673,401人（平成29年静岡県年齢別人口推計 統計表1）





100人の村人のうち、男性は49人で、
女性は57人います。

13人の子ども（0～14歳）、
58人の大人（15～64歳）、
29人のお年寄り（65歳以上）がいます。




※ここでは、年少人口（0～14歳）を「子ども」、
生産年齢人口（15～64歳）を「大人」、
老年人口（65歳以上）を「お年寄り」と表現しています。

男性人口：1,809,009人、女性人口：1,864,392人
（平成29年静岡県年齢別人口推計 統計表1）
年少人口（0～14歳）：463,156人
生産年齢人口（15～64歳）：2,123,905人
老年人口（65歳以上）：1,060,406人
（平成29年静岡県年齢別人口推計 統計表3）


今年1人が生まれ、
1人が亡くなりました。

4人が他の村へ引っ越し、
4人が新しく村へ入ってきました。



出生児数：27,097人、死亡者数：40,753人
転入者数：148,336人、転出者数：148,224人
（平成29年静岡県年齢別人口推計 統計表2）





54人が仕事を持っています。

1人は働きたいのですが、職が見つかりません。

16人は家事のみをしています。




就業者：1,984,000人、完全失業者：50,000人（労働力調査
都道府県別結果（モデル推計値）平成28年平均）
無業者のうち家事をしている者：586,400人
（平成24年就業構造基本調査 地域別主要結果編Ⅰ
第1-1表）


静岡村では、ものづくりが盛んです。

働いている人のうち、
13人がものづくりの仕事をしています。



製造業就業者：464,463人
（平成27年国勢調査 就業状態等基本集計 第6-3表）





78歳以上の村人84人に、
静岡村の住みやすさについて聞きました。

「静岡村は住みやすいよ」
76人の村人は言いました。

静岡村は、とても平和です。

村人は、みんなのんびりと過ごしていました。



18歳以上人口：3,077,914人

(平成29年静岡県年齢別人口推計 統計表7)

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」回答者：90.8%

(平成29年度県政世論調査 第1章生活についての意識

3.静岡県の住みよさ)



しかし、ある日のことです。

村に住む占い師が言いました。

「村では、生まれる子どもの数が年々減ってきています。また、村から出て行ってしまいう人も増えています。

このままだと、2060年に村が大変なことになってしまいますよ」

村人たちは、とても驚きました。

「いったい、村に何が起きるんだ？」

村人たちは、占い師に聞きました。

「2060年の静岡村の姿を、みなさんにお話しましょう」

占い師は、ゆっくりと2060年の静岡村の姿について語り始めました。



※次ページからの推計は、今後生まれる子どもの数が減っていき、静岡県からの転出者が転入者より多い想定で計算しています。





2060年の静岡村には、65人の村人がいます。

村人は、昔より35人も減ってしまいました。

65人の村人のうち、男性は32人で、
女性は33人います。

7人の子ども（0～14歳）、
33人の大人（15～64歳）、
25人のお年寄り（65歳以上）がいます。

村では、子どもが減って、
村人の約3人に1人がお年寄りになりました。

2060年時点人口：2,387,348人

2060年時点男性人口：1,162,133人

2060年時点女性人口：1,225,215人


（国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口
（平成25年3月）」を参考にした静岡県独自推計）


2060年時点年少人口（0～14歳）：246,261人

2060年時点生産年齢人口（15～64歳）：1,220,988人

2060年時点老年人口（65歳以上）：920,099人

（国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口
（平成25年3月）」を参考にした静岡県独自推計）





お年寄りを支えるためのお金を、
大人たちが多く負担することになりました。

昔は、58人の大人で29人のお年寄りを
支えていました。

しかし、2060年の村では、33人の大人で
25人のお年寄りを支えなければなりません。

仕事を持っている人は、30人になりました。

村全体の生産額も、約4割減ってしまいました。

2017年時点生産年齢人口：2,123,905人

2017年時点老年人口：1,060,406人

(平成29年静岡県年齢別人口推計 統計表3)

2060年時点生産年齢人口：1,220,988人

2060年時点老年人口：920,099人

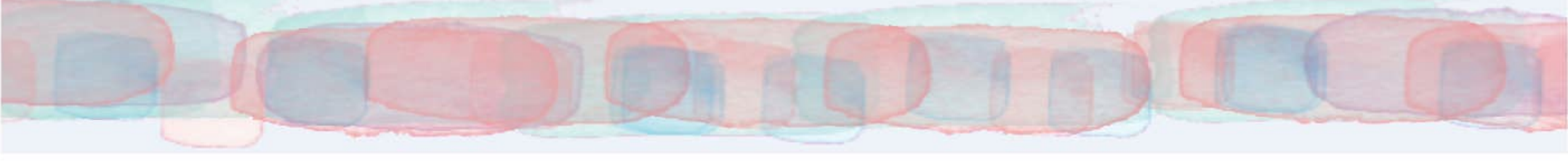
(国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口
(平成25年3月)」を参考にした静岡県独自推計)

2060年時点就業者：1,099,000人

2010年時点県内生産額：325,061億円

2060年時点県内生産額：179,004億円

(「美しい"ふじのくに"まち・ひと・しごと創生長期人口ビジョン」
(平成27年10月))



「なんてことだ」

2060年の静岡村の様子を聞いた村人たちは、とても驚きました。

「いったい、私たちはどうすればいいんだ？」

村人たちは、占い師に尋ねました。

占い師は答えました。

「たとえば、若い人が子育てをしやすい村にすること。
もっと住みやすい村にして、
村から出て行く人の数を減らし、
一方で村への移住者を増やすこと。

そして、何より村人一人一人が静岡村の将来を考えて行動することです」



「わかった。静岡村のために、村人みんなが
頑張ってみよう」

村人たちは、占い師の助言を受けて、
静岡村の将来のために行動すると決めました。



それから長い月日が経ち、2060年になりました。

占い師の助言を受けて、2060年の静岡村は
どうなったのでしょうか。

2060年の静岡村の姿を、
少しだけ見てみましょう。



※次ページからの推計は、今後生まれる子どもの数が増え、
静岡県からの転出者と転入者の差が0となる想定で計算しています。

2060年の静岡村には、83人の村人がいます。

83人の村人のうち、男性は47人で、
女性は42人います。

13人の子ども（0～14歳）、
45人の大人（15～64歳）、
25人のお年寄り（65歳以上）がいます。

※実際には「大人（15～64歳）」は44人になりますが、
総人口に合わせるため、45人としています。

2060年時点総人口：3,065,539人
2060年時点男性人口：1,499,778人
2060年時点女性人口：1,565,761人
2060年時点年少人口（0～14歳）：487,613人
2060年時点生産年齢人口（15～64歳）：1,642,467人
2060年時点老年人口（65歳以上）：935,459人

（「静岡県市町別将来人口推計ソフトVer3.0」2 B推計）

※2 B：将来人口推計ソフトでは様々なパターンで推計を行うことができます。
最も将来の人口が多くなるパターンが2 B推計です。

昔と比べて、少しだけ村人の数は
減ってしまいました。

しかし、占い師が言っていた未来に比べて、
村人の減少を抑えることができました。

そして、何より村人みんなが
静岡村の未来のことを考えるようになりました。



あなたも、静岡村に住む1人の村人です。

静岡村の未来のことを、考えてみましょう。



おしまい

「統計センターしずおか」
<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>



「Myしずおか日本一」
<http://www.pref.shizuoka.jp/j-no1/>